

令和元年度（平成31年度） あま市地域包括支援センター事業経過

I あま市地域包括支援センター事業経過

1 指定介護予防支援業務

本業務は平成30年4月より社会福祉協議会地域包括支援センターに委託しているため、詳細については社会福祉協議会地域包括支援センター事業実績をご参照ください。

2 介護予防ケアマネジメント業務

本業務は平成30年4月より社会福祉協議会地域包括支援センターに委託しているため、詳細については社会福祉協議会地域包括支援センター事業実績をご参照ください。

3 総合相談支援事業

(1) 相談業務

高齢者に対するワンストップサービスの拠点として、地域に住む高齢者の様々な相談を受け止め、適切な機関、制度、サービスにつなぎ、継続的に支援する。

本事業は平成30年4月より社会福祉協議会地域包括支援センターに委託しているため、詳細については社会福祉協議会地域包括支援センター事業実績をご参照ください。

あま市高齢福祉課 地域包括支援センター 実績 R2年2月末現在

年度	電話	来所	訪問	その他	合計
平成30年度	953 件	248 件	249 件	565 件	2,015 件
令和元年度	678 件	184 件	131 件	384 件	1,377 件

◎新規相談者（165件）内訳

相談者		件数	構成割合
1	家族・親族	54 件	32.7 %
2	本人	23 件	13.9 %
3	警察	18 件	10.9 %
4	民生委員	14 件	8.5 %
5	行政機関	13 件	7.9 %
6	社会福祉協議会等	12 件	7.3 %
7	医療機関	9 件	5.5 %
8	ケアマネジャー	4 件	2.4 %
9	知人・友人	3 件	1.8 %
10	介護保険事業所	2 件	1.2 %
11	その他	13 件	7.9 %
合計		165 件	100.0 %

◎新規相談内容内訳（複数回答）

R2年2月末現在

相 談 内 容		件 数	構成割合
1	状況確認	67 件	25.4 %
2	認知症	65 件	24.6 %
3	介護保険関連	54 件	20.5 %
5	病院・医療関係	10 件	3.8 %
4	ひとり暮らしに関して	9 件	3.4 %
6	行政サービス・制度の活用	7 件	2.7 %
7	地域資源の活用	3 件	1.1 %
8	支援困難	4 件	1.5 %
9	権利擁護・成年後見	1 件	0.4 %
10	苦情	1 件	0.4 %
11	生活支援体制整備	0 件	0.0 %
12	その他	43 件	16.3 %
合 計		264 件	100.0 %

(2) ひとり暮らし高齢者等の実態把握

- ・訪問等により地域の高齢者世帯の心身の状況や家族の状況などを把握し、支援を必要とする世帯に対して、適切な関係機関や制度につなげ、さらなる問題の発生を防止する。
- ・民生児童委員に依頼し、担当地区対象者の戸別訪問を実施。
- ・実態把握にて収集した情報については、システム登録しデータにより保管する。

区 分	人数等 H30.3.1現在	人数等 H31.3.1現在	人数等 R2.3.1現在
あま市総人口	88,836 人	88,820 人	89,146 人
高齢者（65歳以上）	23,121 人	23,212 人	23,191 人
高齢化率	26.0 %	26.1 %	26.0 %
ひとり暮らし高齢者	2,838 人	2,976 人	3,082 人
高齢者のみの世帯人数	7,050 人	7,151 人	6,889 人

ひとり暮らし高齢者の年齢

R2年3月1日現在

年齢	人数	構成割合	男性	女性
65～69歳	458 人	14.9 %	219 人	239 人
70～74歳	824 人	26.7 %	344 人	480 人
75～79歳	749 人	24.3 %	227 人	522 人
80～84歳	620 人	20.1 %	171 人	449 人
85～89歳	329 人	10.7 %	91 人	238 人
90歳以上	102 人	3.3 %	22 人	80 人
合 計	3,082 人	100.0 %	1074 人	2,008 人

4 権利擁護事業

(1) 高齢者虐待への対応件数

R2年3月末現在

区 分	H29年度	H30年度	R元年度
相談・通報	24 件	20 件	34 件
虐待として判断	6 件	2 件	9 件
虐待者からの分離	0 件	2 件	0 件

(2) 成年後見制度の活用件数

R2年2月末現在

区 分	H29年度	H30年度	R元年度
本人申立ての支援	1 件	0 件	0 件
親族申立ての支援	0 件	0 件	0 件
市町村申立て	1 件	1 件	2 件

(3) 高齢者の権利擁護に関する講演会

高齢者が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、高齢者虐待や消費者被害の防止啓発、成年後見制度の周知等を実施した。

日 程	内 容	場 所	参加人数
2月14日	<p>●認知症の人と家族が安心して暮らせる地域に ～私にできることとは～</p> <p>講師：医療法人 幸会 老人保健施設 みず里 サービス総括部長 齋藤 妙子氏</p>	<p>甚目寺総合福祉会館 つどいの部屋（3階）</p>	57人

5 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

地域の関係機関と連携・協働の体制をつくり、個々の状況や変化に応じて、高齢者を包括的かつ継続的に支援する。

(1) 多職種連携を目的としたあま市地域ケア会議

病院・診療所の医師、歯科医師、ケースワーカー、薬剤師、ケアマネジャー、地域包括支援センター職員、行政職員等各分野の方々の認知症に対する理解と多職種間の連携を深めることを目的として実施した。

日 程	内 容	場 所
6月24日	事例検討「知的・身体障害の子がいる認知症高齢者への支援」	甚目寺庁舎 大会議室

*参加者内訳

職 種	人 数
民生委員	7 人
認知症地域推進専門員	1 人
老人クラブ	6 人
安心支え合いネット員	2 人
生活支援コーディネーター等	2 人
介護支援専門員	19 人
訪問介護事業者	4 人
通所介護事業者	8 人
包括支援センター職員（委託）	1 人
包括支援センター職員（直営）	3 人
行政職員	5 人
合 計	58 人

日 程	内 容	場 所
11月7日	事例検討「在宅医療連携が必要な方について」	甚目寺庁舎 大会議室

* 参加者内訳

職 種	人 数
医師	6 人
歯科医師	5 人
歯科技工士・歯科衛生士	1 人
薬剤師	6 人
病院相談員	2 人
民生委員	6 人
老人クラブ	3 人
海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター職員	1 人
福祉用具貸与事業所職員	1 人
訪問看護事業者	2 人
介護支援専門員	19 人
包括支援センター職員（委託）	3 人
包括支援センター職員（直営）	1 人
行政職員	6 人
合 計	62 人

6 在宅医療・介護連携の推進

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供できるよう連携体制の構築を推進する。

● ICTを活用した医療・介護（多職種連携）について

あま市では、ICTを活用した医療・介護連携を推進するため、名古屋大学医学部附属病院 先端医療・臨床研究支援センターが開発した「電子@連絡帳」【つながろまい”あま”】を導入し在宅医療・介護の連携体制を構築している。

●運用後の施設登録実績について（令和2年2月末現在）

事業所種別	件数
クリニック	14 事業所
歯科	10 事業所
薬局	10 事業所
地域包括支援	2 事業所
居宅介護支援	20 事業所
訪問看護	7 事業所
通所介護	6 事業所
病院	3 事業所
訪問介護	6 事業所
グループホーム	3 事業所
小規模多機能型居宅介護	1 事業所
福祉用具	5 事業所
その他	2 事業所
合計	89 事業所

7 生活支援サービスの体制整備

高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、社会福祉法人等の多様な事業主体による重層的な生活支援サービスの提供体制の構築を図る。

(1) 生活支援講演会（地域包括ケアシステム講演、活動団体発表）

地域全体で高齢者の生活を支える体制整備を行うため、ボランティア等を担い手とした生活支援サービスの開発、サービス提供主体間のネットワークの構築等を行う。

日程	内容	場所	参加人数
1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で暮らしつづけるために必要なこと ～役割と出番のある日常をつくろう～ 講師 同朋大学 社会福祉学部 社会福祉学科 専任講師 汲田 千賀子氏 ●地域で支え合い活動をしている団体の発表 七宝地区協議体、ささえ愛美和、まちかどかつ や～くネットワーク 甚目寺、あまちゃんの会、 沖之島地区コミュニティ推進協議会 	美和文化会館 (多目的ホールABC)	267 人

(2) 協議体

生活支援等サービスの体制整備に向け、多様な主体間の情報の共有、連携及び協働による資源開発等を推進するための話し合いの場

第1層（あま市全域）

回数	日程	内容	場所
第1回	5月28日	生活支援コーディネーターの紹介と2019年度年間スケジュール	あま市役所甚目寺庁舎
第2回	12月2日	生活支援体制整備事業説明と3地区協議体の活動報告	あま市役所甚目寺庁舎

* 構成員の内訳

団 体		
民生委員児童委員協議会	老人クラブ連合会	女性の会
赤十字奉仕団	市民活動センター	シルバー人材センター
社会福祉協議会	元ボランティア連絡協議会	高齢福祉課
生活支援コーディネーター		

第2層（七宝地区・美和地区・甚目寺地区）

本事業は平成31年4月より社会福祉協議会地域包括支援センターに委託しているため、詳細については社会福祉協議会地域包括支援センター事業実績をご参照ください。

8 認知症施策の推進

(1) 認知症初期集中支援推進事業

認知症になってもできる限り住み慣れた良い環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に複数の専門職で構成されたチーム員が早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援を行い、自立した生活をサポートする。

平成27年10月から医療法人 宝会 七宝病院に事業委託を行っている。

<支援対象者>

おおむね40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で以下のいずれかの基準に該当する人

- ① 医療サービス、介護サービスを受けていない人、または中断している人で以下のいずれかに該当する人
 - ・ 認知症疾患の臨床診断を受けていない人
 - ・ 継続的な医療サービスを受けていない人
 - ・ 適切な介護サービスに結び付いていない人
 - ・ 介護サービスが中断している人
- ② 医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している人

<チーム員>

認知症サポート医1名と医療・介護系専門職員3名
事業の委託先の医療法人 宝会 七宝病院に設置

<活動実績> (平成31年4月～令和2年2月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
初回訪問件数	2	1	2	2	1	0	2	0	0	1	1	12
チーム員会議件数	6	6	7	4	9	8	4	5	4	3	3	59

※初回訪問の内訳

・性別、年齢状況

年齢	40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	合計
男性	0人	0人	0人	2人	1人	0人	3人
女性	0人	0人	2人	2人	2人	3人	9人

・世帯状況

世帯状況	独居	夫婦のみ	その他	合計
	4人	4人	4人	12人

・把握状況

基本チェックリスト	本人	家族	民生委員	医療	ケアマネジャー	近隣住民	委託包括	合計
3人	0人	1人	2人	0人	0人	0人	6人	12人

・支援状況

専門医療機関につながった人	7人	アルツハイマー 3人、混合型 2人、MCI 2人
介護サービスにつながった人	1人	
その他	4人	

※訪問支援対象者には、地域資源のいきいきサロンやふれあいカフェなどの情報提供をし、参加につなげている。

<認知症地域支援推進員の活動>

地域の医療や介護の関係機関、地域の支援機関などとの連携支援や認知症の人やその家族を支援する体制づくりを担っている。(包括支援センターに5名)

・推進員活動実績 (平成31年4月～令和2年2月)

シニアいきいきアンケートから

訪問	24人
電話	8人
手紙等	5人
その他	2人

窓口等の相談から

訪問	15人
電話	8人

(2) ふれあい（認知症）カフェ

認知症の方とその家族、地域住民の方などが集い、情報交換、レクリエーションなどをして楽しい時間を過ごす通いの場となっている。

●地域包括支援センター（運営主体）

ふれあいカフェ美和

R2年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月19日	3 人	5 人	24 人	グループホーム利用者 ボランティア 地域の方 介護保険事業所職員 包括支援センター職員	グループホーム 第二あま恵寿荘
5月17日	3 人	5 人	27 人		
6月21日	3 人	5 人	22 人		
7月19日	3 人	4 人	19 人		
8月16日	2 人	3 人	20 人		
9月20日	3 人	5 人	26 人		
10月18日	2 人	4 人	27 人		
11月15日	3 人	4 人	23 人		
12月20日	1 人	4 人	33 人		
1月17日	2 人	3 人	8 人		
2月21日	2 人	4 人	23 人		
合計	27 人	46 人	252 人		

※ 平成27年3月より毎月第3金曜日に実施

ふれあいカフェ甚目寺

R2年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月9日	5 人	3 人	14 人	ボランティア 地域の方 介護保険事業所職員 包括支援センター職員	あま市甚目寺 総合福祉会館
5月14日	5 人	2 人	14 人		
6月11日	5 人	2 人	13 人		
7月9日	6 人	3 人	12 人		
8月13日	2 人	4 人	10 人		
9月10日	1 人	5 人	15 人		
10月8日	6 人	3 人	18 人		
11月12日	5 人	2 人	14 人		
12月10日	4 人	3 人	16 人		
1月17日	4 人	2 人	11 人		
2月18日	4 人	1 人	9 人		
合計	47 人	30 人	146 人		

※ 平成28年2月より毎月第2火曜日に実施

●地域（運営主体）

地域包括支援センターが実施主体である2か所に加え、地域のコミュニティやボランティアを中心とした、団体が実施している。カフェの終了後にはスタッフがカンファレンスを実施しており運営開始初期等は包括支援センター職員もカンファレンスに入って助言している。

中萱津ふれあいカフェあまちゃん

R2年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月25日	1 人	2 人	17 人	ボランティア 地域の方 介護保険事業所職員 包括支援センター職員	コミュニティプラザ 萱津
5月23日	1 人	2 人	23 人		
6月27日	2 人	2 人	17 人		
7月25日	1 人	2 人	14 人		
8月22日	1 人	2 人	18 人		
9月26日	3 人	2 人	16 人		
10月24日	3 人	2 人	17 人		
11月28日	2 人	2 人	18 人		
12月26日	1 人	1 人	14 人		
1月23日	1 人	1 人	12 人		
2月27日	0 人	1 人	9 人		
合計	16 人	19 人	175 人		

※ 平成28年7月より毎月第4木曜日に実施

伊福ふれあいカフェ

R2年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月25日	2 人	1 人	44 人	ボランティア 地域の方 介護保険事業所職員 包括支援センター職員	伊福集会所
5月30日	5 人	1 人	45 人		
6月27日	1 人	1 人	45 人		
7月25日	3 人	1 人	41 人		
8月29日	1 人	1 人	51 人		
9月26日	2 人	1 人	53 人		
10月31日	1 人	1 人	49 人		
11月28日	2 人	1 人	63 人		
12月19日	2 人	1 人	45 人		
1月30日	1 人	0 人	56 人		
2月27日	1 人	0 人	43 人		
合計	21 人	9 人	535 人		

※ 平成28年9月より毎月最終木曜日に実施

下萱津ふれあいカフェあまちゃん

R2年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月22日	1 人	2 人	17 人	ボランティア 地域の方 包括支援センター職員	下萱津コミュニティ 防災センター
5月27日	2 人	2 人	11 人		
6月24日	2 人	2 人	17 人		
7月22日	1 人	2 人	15 人		
8月26日	0 人	1 人	20 人		
9月休み					
10月28日	2 人	2 人	12 人		
11月25日	0 人	1 人	19 人		
12月23日	0 人	2 人	17 人		
1月22日	0 人	1 人	21 人		
2月中止					
合計	8 人	15 人	149 人		

※ 平成29年4月より毎月最終月曜日に実施

ふれあいカフェあまちゃん菖目寺公民館

R2年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所		
4月9日	1 人	2 人	31 人	ボランティア 地域の方 包括支援センター職員	菖目寺公民館		
5月14日	3 人	2 人	27 人				
6月11日	1 人	2 人	25 人				
7月9日	2 人	2 人	22 人				
8月13日	2 人	3 人	16 人				
9月10日	1 人	2 人	23 人				
10月8日	2 人	1 人	16 人				
11月12日	1 人	3 人	17 人				
12月10日	3 人	2 人	16 人				
1月14日	0 人	0 人	20 人				
2月11日	1 人	3 人	17 人				
合計	17 人	22 人	230 人				

※ 平成31年4月より毎月第2火曜日に実施

なの花の会JA菖目寺

R2年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所		
4月5日	1 人	1 人	29 人	ボランティア 地域の方 農協職員 包括支援センター職員	菖目寺農協		
5月休み							
6月7日	1 人	1 人	26 人				
7月5日	0 人	0 人	26 人				
8月2日	1 人	1 人	20 人				
9月6日	1 人	2 人	29 人				
10月4日	1 人	2 人	30 人				
11月1日	1 人	2 人	58 人				
12月6日	2 人	2 人	25 人				
1月休み							
2月7日	0 人	1 人	23 人				
合計	8 人	12 人	266 人				

※ 平成31年4月より毎月第1金曜日に実施

なの花の会 J A 美和

R2年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月8日	1 人	1 人	31 人	ボランティア 地域の方 農協職員 包括支援センター職員	美和農協
6月10日	2 人	3 人	20 人		
8月19日	0 人	1 人	21 人		
9月9日	1 人	1 人	26 人		
10月21日	1 人	1 人	26 人		
12月8日	1 人	1 人	25 人		
2月10日	1 人	1 人	35 人		
合計	7 人	9 人	184 人		

※ 平成31年4月より偶数月、第2月曜日に実施

新居屋ふれあいカフェ

R2年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
10月21日	2 人	1 人	19 人	ボランティア 地域の方 包括支援センター職員	新居屋憩の家
11月18日	2 人	1 人	16 人		
12月16日	2 人	1 人	16 人		
1月20日	0 人	0 人	11 人		
2月17日	1 人	0 人	19 人		
合計	7 人	3 人	81 人		

※ 令和元年10月より毎月第3月曜日に実施

ご近所カフェ ポップ

R2年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
1月11日	3 人	0 人	11 人	グループホーム利用者 ボランティア 地域の方 包括支援センター職員	グループホーム ポップラ
2月8日	8 人	1 人	9 人		
合計	11 人	1 人	20 人		

※ 令和2年1月より毎月第2土曜日に実施

(3) ふれあいカフェ交流会

ふれあいカフェを運営している各カフェのスタッフが集まり、情報交換や交流を行う会を開催。それぞれのカフェの取り組みを発表したり、今後の課題について話し合いの機会をつくることのできた。

日程	参加者
1月29日	市内10か所のカフェより 35人

9 任意事業

(1) 高齢者地域見守り協力の協定締結

地域における高齢者の異変を発見した場合に、市へ通報することで安心して生活できる見守り体制の構築を目的に、あま市内を業務範囲とする以下の事業者と協定を締結しネットワークづくりを推進している。協定を締結した事業者には、その証しとして見守りステッカーを配布している。

さらに、協力事業者には認知症サポーター養成講座への参加を促している。

協定締結事業者一覧

* 新聞販売店 (12事業所 H25. 10. 17締結)

朝日新聞 ASA 甚目寺
有限会社 リブ
有限会社 加藤新聞店
有限会社 赤羽新聞店
株式会社 タケダ
中日新聞 甚目寺西部専売所
中日新聞美和正則専売店 日比野新聞店
株式会社七宝ニュース・アド
有限会社 前田新聞舗
中日新聞青塚専売所 山田新聞店
読売センター美和・七宝
読売センター清須

* ライフライン (52事業所 H26. 8. 20締結)

名古屋市上下水道局	中村営業所
中部電力株式会社	中村営業所
中部電力株式会社	津島営業所
東邦ガス株式会社	美和サービスセンター
一般社団法人愛知県LPガス協会	西部支部海部北分会 48事業所

* 配食・宅配事業者 (10事業所 H27. 8. 24締結)

さくら配食サービス
株式会社 ショクブン
そうざいや かとう
宅配クック123
有限会社 ズルチ ハニーズキッチン
有限会社 双葉
合同会社 SHAO-RON
ワタミフードシステムズ株式会社 愛知あま稲沢営業所
一宮生活協同組合 稲沢センター
生活協同組合コープあいち 海部センター

* 金融機関等 (18事業所 H26. 2. 25締結)

大垣共立銀行	甚目寺支店
大垣共立銀行	七宝支店
十六銀行	美和支店
名古屋銀行	甚目寺支店
岐阜信用金庫	美和支店
愛知信用金庫	七宝支店
いちい信用金庫	甚目寺支店
いちい信用金庫	美和支店 H29.3 窓口業務終了
いちい信用金庫	七宝支店
中日信用金庫	甚目寺支店
海部東農業協同組合	甚目寺支店
海部東農業協同組合	七宝支店
海部東農業協同組合	伊福支店
海部東農業協同組合	美和支店
日本郵便株式会社	甚目寺郵便局
日本郵便株式会社	蟹江郵便局
日本郵便株式会社	美和郵便局
日本郵便株式会社	津島郵便局

※現在は17事業所と締結

* 生鮮食料品店 (15事業所 H28. 8. 23締結)

株式会社アオキスーパー 甚目寺店
株式会社魚太 スーパーうおた
株式会社コノミヤ 甚目寺店
田中精肉店
株式会社トミダ ナフコ 木田店
株式会社トミダ ナフコ 七宝店
馬場商店
林青果 合資会社
バラエティーミートスズキ
株式会社ヒバリヤ 美和店
株式会社フィールコーポレーション EQVo! カニエ店
ベルズ七宝 (閉店のため平成28年11月終了)
マルイチ商店
ユニ株式会社ピアゴ 甚目寺店
株式会社ワイストア Yストア 甚目寺店

※現在は14事業所と締結

* 薬局・ドラッグストア

(20事業所 H29.9.29～R元.11.27締結)

クリエイトエス・ディー 愛知甚目寺店
ゲンキー株式会社 新居屋西店
株式会社 サンドラッグ 甚目寺森店
株式会社 サンドラッグ 美和店
株式会社 サンドラッグ 七宝店
スギドラッグ 甚目寺森店
スギドラッグ 美和店
ツジ薬局 本郷店
日の丸薬局
マツモトキヨシ 甚目寺店
株式会社 ミワドラッグ
明治堂薬品 ヨシツヤ甚目寺店
B&Dドラッグストア 七宝店
株式会社 中部薬品 V・drug 甚目寺店
株式会社 中部薬品 V・drug 甚目寺西店
株式会社 中部薬品 V・drug 甚目寺南店
株式会社 中部薬品 V・drug 七宝店
株式会社 クスリのアオキ 甚目寺森店
株式会社 クスリのアオキ 小路店
株式会社 ユカファーマシ - ドラッグ ユカ あま甚目寺店

※随時追加締結あり、現在は20事業所と締結

* 高速道路会社

(1事業所 H30.2.27締結)

中日本高速道路株式会社名古屋支所

* 通報件数

R2年2月末現在

業 種	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
新聞販売店	18	7 件	9 件	1 件
金融機関・郵便局	0	0 件	1 件	0 件
ライフライン	0	0 件	1 件	0 件
配食・宅配	2	0 件	1 件	1 件
生鮮食料品店	0	0 件	0 件	0 件
薬局・ドラッグストア	—	0 件	0 件	0 件

(2) 認知症の方の地域見守り協力者・キャラバンメイトの学習会

認知症サポーター養成講座を開催できる研修を受けてキャラバンメイトや認知症サポーター養成講座を受けた方の中で、認知症の方や家族を応援し、だれもが暮らしやすい地域づくりに協力して頂ける方に登録をしてもらい、登録者に対し認知症の理解を深めてもらうため、勉強会や登録者同士の交流及び情報交換を行うことで認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指す。

回数	日程	内 容	場 所	参加人数
第1回	5月15日	第1回 キャラバンメイト連絡会	甚目寺庁舎 第1会議室(東)	13名
第2回	7月12日	認知症サポーターフォローアップ講座	甚目寺総合福祉会館 ふれあいルーム1	12名
第3回	8月26日	●認知症講演会 ～家族が認知症とうまくつきあうための コツを知ろう!～ 公益社団法人 認知症の家族の会 愛知県 支部 代表 尾之内 直美 氏	甚目寺総合福祉会館	75名
第4回	10月10日	第2回 キャラバンメイト連絡会	甚目寺庁舎 第2会議室	17名

* 登録者数 (R2年2月末時点 94人)

(3) 認知症サポーター養成講座

サポーターを地域で養成することで、認知症の正しい知識を持ち、本人や家族を地域で支え合う輪を広げていく。

* 認知症サポーター養成人数

R2年2月末現在

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
人数	521	1,016	1,705	1,477	1,768	1,473	1,349
累積人数	2,302	3,318	5,023	6,500	8,268	9,741	11,090

R2年2月末現在

日 程	対 象 者	場 所	参加人数
4月16日	桂サロン	桂公民館	47 人
4月18日	新人職員研修	市役所本庁舎	45 人
5月22日	上萱津いきいきサロン	上萱津コミュニティ防災センター	40 人
6月4日	美和中学校1年生	美和中学校	121 人
6月5日	美和中学校1年生	美和中学校	98 人
6月14日	愛知海部東部会	美和郵便局	15 人
6月28日	美和文化会館・図書館	美和文化会館 会議室	22 人
7月5日	七宝中学校1年生	七宝中学校	144 人
7月10日	いきいきサロン下之森元気クラブ	下之森公民館	18 人
8月5日	中萱津サロン	コミュニティプラザ萱津	29 人
8月26日	認知症講演会	甚目寺総合福祉会館	75 人
9月5日	森憩の家	森憩の家	16 人
9月14日	ニツ寺サロン「なごみ」	正則コミュニティセンター	35 人
9月30日	新居屋憩の家	新居屋憩の家	19 人
10月10日	中橋ひろば	中橋集会場	28 人
10月31日	甚目寺中学校1年生	甚目寺中学校	232 人
11月15日	甚目寺南中学校1年生	甚目寺南中学校	185 人
11月19日	七宝北中学校1年生	七宝北中学校	54 人
2月5日	一般住民（美和地区）	美和総合福祉センター すみれの里	29 人
2月12日	一般住民（甚目寺地区）	甚目寺総合福祉会館	41 人
2月13日	本郷憩の家利用者	本郷憩の家	25 人
2月19日	一般住民（七宝地区）	七宝アートヴィレッジ	31 人
合 計			1,349 人

(4) 認知症予防講座

認知症予防講座に参加してもらい認知症予防の正しい知識を持ち予防効果の高いプログラムを経験し、継続してもらうことで、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けてもらうことを目指す。

日 程	対 象 者	場 所	参加人数
6月11日	七宝川部宝寿会	川部公民館	48 人
7月2日	美和地区寿会連合会 花長寿会	花長公民館	42 人
9月11日	JA海部東部なの花会 JA七宝	JA海部東部なの花の会 七宝店	11 人
9月27日	新居屋ふれあいいいききサロン	新居屋憩の家	23 人
10月10日	サロン中橋ひろば	中橋集会場	28 人
10月16日	上萱津いきいきサロン	上萱津コミュニティ防災センター	33 人
12月17日	新居屋憩の家	新居屋憩の家	24 人
2月4日	シルバー人材センター女性会員交流会	甚目寺総合福祉会館	19 人
2月21日	森憩の家	森憩の家	14 人
合 計			242 人

(5) 介護者のつどい

介護にたずさわっている家族等が気軽に参加し、介護者同士の交流や情報交換を行いながら心身をリフレッシュして精神的な負担を軽くし、介護者の孤立を防ぐ。

R2年2月末現在

名 称		介 護 者 の つ ど い		
日 程		毎月第4月曜日	奇数月第2水曜日	偶数月第1月曜日
場 所		甚目寺総合福祉会館	七宝総合福祉センター	美和総合福祉センター すみれの里
参加 人数	平成29年度	34人	6人	32人
	平成30年度	34人	7人	44人
	令和元年度	30人	6人	46人

10 介護予防事業

(1) 介護予防把握事業

- ・要支援、要介護状態となるおそれがある高齢者をアンケートにより早期発見し、介護予防教室等により早期対応を行う。
- ・教室に参加する意志のある人に対しアセスメントを行い、介護予防事業を実施している。

R2年2月末現在

年度	シニアいきいきアンケート		回収率
	発送	返送	
平成29年度	13,008 人	11,391 人	87.6%
平成30年度	13,596 人	11,860 人	87.2%
令和元年度	14,084 人	12,216 人	86.7%

(2) 一般介護予防事業

R2年2月末現在

事業名	実施回数	事業内容	H29年度	H30年度	R元年度
健康相談	年38回	保健師による血圧測定・個別相談	366人	362人	307人
はつらつクラブ	8か所 年12回	軽体操・ストレッチ・レクリエーション 合唱・音読・健康チェックなど 口腔機能・低栄養予防についての講話	1,353人	1,041人	817人
筋力アップクラブ (運動)	3か所 年12回	転倒・骨折予防のための体操、健康チェック	1,371人	1,558人	791人
低栄養予防教 ※	年3回	調理実習と交流会	24人	33人	46人
口腔ケア リーフレット配布	高齢者世帯 実態調査 把握訪問時	口腔ケア・運動習慣等の必要性についての周知・啓発		11,032人	10,940人
出前講座	随時	サロン等で保健師・歯科衛生士・管理栄養士による運動・口腔・栄養に関する講話や体操など			260人

※ 令和元年度より男性料理教室を「低栄養予防教室」に名称変更

* 評価

●平成30年度より、市直営の包括と委託の包括が連携・協力しながら事業を実施している。地域包括ケアシステムの構築を進めており、医療と介護の連携を推進するべく平成30年度4月より立ち上がった「海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター(通称あまさぼ)」に地域ケア会議への参加や健康福祉まつりでブースを共働運営したりと連携しながら在宅医療の啓発を行っている。
認知症施策の推進として、今年度新たに認知症予防講座を開始し、認知症サポーター養成講座と共に認知症への理解を深めることを継続して実施している。認知症カフェの補助金制度も開始し、認知症の方や家族などの通いの場として地域の中に広がりを見せている。健康福祉まつりにおいても認知症カフェを設置し、実際の場を体験していただくことで認知症の理解を深めてもらうことができた。認知症地域推進員の活動の中で認知症初期集中支援チームなどと連携して本人や家族の支援を継続している。高齢者見守り協定により、地域の事業者も高齢者の見守りに協力しており、地域全体で、認知症も含めた高齢者に優しいまち、高齢者になっても住み続けたいまちづくりを推進していく。
高齢者の権利擁護については、講演会の開催や、虐待に関連した相談等では家族間の調整や介護サービスへ繋がる支援や成年後見制度の相談や申し立ての援助等を実施している。
今後も本人の尊厳が守られ安心した生活ができるような支援を続けていく。

●健康推進課の予防事業は、高齢者健康増進事業として高齢者全般に向けた事業に見直し、修正・展開してきたところです。高齢者の健康づくり、健康寿命の延伸を目的とし、運動・口腔・栄養の視点を軸とし、参加者一人ひとりが自分の身体・健康を知ることができる場としています。さらには、高齢者の引きこもりを防止するための一つになっているかと思えます。参加数が伸び悩んでいる事業もありますが、検診や予防接種などの保健事業、出前講座で啓発とともに教室の紹介や健康づくりに取り組むことの声かけをしています。また、民生委員の協力により高齢者世帯の実態調査訪問時にリーフレットの配布で、なかなか外に出ない高齢者にも広く周知、啓発で高齢者の健康増進に取り組んでいます。相談等あれば、保健センターの紹介もしてもらっています。

II あま市社会福祉協議会地域包括支援センター事業経過

1 指定介護予防支援業務

- ・介護保険において、予防給付の対象となる要支援1・2と認定された人に対して、要支援状態の改善や重度化の予防のために介護予防支援を実施
- ・申請手続き、契約、介護予防プラン作成、給付管理などの業務を実施
- ・業務の一部（アセスメント、介護予防プラン作成等）について、58件（市内24件・市外34件）の居宅介護支援事業所に委託

R2年2月末現在

給付月	利用者数(単位:人)				合計
	委託包括(継続)	委託包括(新規)	委託(継続)	委託(新規)	
4月	36	0	291	15	342
5月	33	0	299	12	344
6月	36	0	305	11	352
7月	33	0	317	15	365
8月	33	1	324	16	374
9月	33	0	319	10	362
10月	31	0	328	18	377
11月	32	0	335	12	379
12月	27	0	327	9	363
1月	32	0	330	8	370
2月	32	0	322	18	372
合計	358	1	3,497	144	4,000

※ 1月・2月は未確定

◎予防給付業務委託事業所

R2年2月末現在

	事業所名	所在地
1	あいご居宅介護支援	名古屋市北区水草町二丁目60-2
2	あま居宅介護支援事業所	あま市新居屋上権現89番地2
3	あま恵寿荘居宅介護支援事業所	あま市二ツ寺西高須賀2番地
4	あま市社会福祉協議会居宅介護支援事業所	あま市西今宿馬洗46番地
5	海部東部介護支援センター	あま市新居屋鶴田14番地
6	いろは居宅介護支援事業所	稲沢市奥田堀畑町143番地
7	うららケアセンター	あま市木田飛江ノ見75番地1
8	オーネスト千の音 指定居宅介護支援事業所	名古屋市中川区富田町大字千音寺字下川西833番地
9	介護相談室 絆サポート おおはる	海部郡大治町北間島屋敷123番地
10	あま在宅介護相談センター	あま市新居屋高島35
11	居宅介護支援事業所かにえ	海部郡蟹江町西之森長瀬下65番地14
12	かもり介護センター	津島市神守町字下町2番地
13	カリヨンの郷介護サポートセンター「新千秋」	海部郡蟹江町大字新千秋字後西33番
14	いだか居宅介護支援事業所	名古屋市名東区上社4丁目160-1けやきビル2階
15	居宅介護支援事業所 ひまわり	津島市莪原町字郷西30番地1
16	ケアセンターくすのき	あま市基目寺桑丸57-7
17	Kライン・ケアプランセンター美和	あま市蜂須賀北本郷1317-1
18	美和ケアプラン	あま市富塚七反地41番地2
19	ケアプランハウスゆう	清須市須ヶ口2332番地2
20	ケアプラン ひばり	あま市木田飛江ノ見74番地5
21	ケアプラン ひまわり	あま市本郷花の木45番地 パークサイドパレス102
22	Kライン・ケアプランセンター新川	清須市阿原北野37-2
23	ケアプランセンターこころ	名古屋市港区十一屋二丁目200番地
24	五条川居宅介護支援事業所	清須市春日新堀33番地

25	居宅支援こよみ	名古屋市中川区富田町千音寺間渡里2866-1
26	さくら指定居宅介護支援事業所	あま市七宝町安松14丁目97番地
27	居宅介護支援事業所 幸	海部郡大治町八ツ屋字裏畑53-2
28	けあぷらんさつき	清須市西枇杷島町花咲7 ラ・フォーレ花咲20
29	居宅介護支援事業所サントピア	海部郡蟹江町大字須成字西市之坪1605-1
30	清温居宅介護支援事業所	あま市木折寺田15番地2
31	四季の里居宅介護支援事業所	海部郡大治町大字西條字柳原37-1
32	介護支援センター千音寺	名古屋市中川区富田町大字千音寺字間渡里2883番地
33	宝会指定居宅介護支援事業所	あま市七宝町下田矢倉下1433番地
34	たんぽぽ居宅介護支援甚目寺	あま市本郷郷前9番地
35	ハート介護支援サービスつしま	津島市西柳原町4丁目2-2
36	ティアレ介護支援ステーション	清須市鍋片1丁目81メゾン丸の内201
37	ケアプラン・ニッケあま	あま市甚目寺権現97-2
38	ハート医科介護支援センター	あま市七宝町桂親田2027番地
39	ケアプランセンター 心彩	あま市七宝町下田上才当治23
40	ケアプランセンター・花水木	愛西市勝幡町緑町48番地
41	居宅介護支援事業所パピヨン	名古屋市中川区八田町1702-1-202
42	ケアプランはるひ	清須市阿原鴨池76-1
43	在宅福祉総合サポートセンター ひだまり	名古屋市中村区山里町53-2
44	指定居宅介護支援センター 陽だまりの里	津島市寺野町字好土44番地
45	介護支援センターひまわり	名古屋市中村区北畑町二丁目25番地
46	福祉の里 稲沢営業所	稲沢市稲沢町前田294-1
47	福神居宅介護支援事業所	清須市土器野211-5
48	プライマリケアプランセンター	あま市森2丁目6番地5
49	ほのぼのあま 指定居宅介護支援事業所	あま市木田五反田87-4
50	ほのぼの平和 指定居宅介護支援事業所	稲沢市平和町下起南275番地
51	マカリエ居宅介護支援事業所	海部郡大治町花常フケ49-1 ⅡⅡⅡ大治504
52	居宅介護支援事業所 まごのて	津島市鹿伏兎町東清水146番地
53	介護支援事業所まつかげ	名古屋市中川区打出二丁目347番地
54	居宅介護支援事業所 みやび	あま市七宝町沖之島九之坪44番地
55	森和心 居宅介護支援事業所	あま市森1丁目10-12
56	ライフケア居宅支援センターあま	あま市森3丁目13-2
57	楽笑苑	名古屋市中村区白子町2丁目7番地
58	ケアプランセンターリーでれ	あま市七宝町遠島新開20-1

2 介護予防ケアマネジメント業務

- ・介護保険において、介護予防・生活支援サービス事業の対象となる要支援1・2、事業対象者と認定された人に対して、要支援状態の改善や重度化の予防のために介護予防ケアマネジメントを実施
- ・申請手続き、契約、介護予防プラン作成、給付管理などの業務を実施
- ・業務の一部（アセスメント、介護予防プラン作成等）について、43件（市内23件・市外20件）の居宅介護支援事業所に委託

R2年2月末現在

給付月	利用者数(単位：人)				合計
	包括（継続）	包括（新規）	委託（継続）	委託（新規）	
4月	50	0	233	8	291
5月	48	1	232	16	297
6月	48	1	227	14	290
7月	46	0	230	22	298
8月	38	0	246	15	299
9月	36	0	259	9	304
10月	36	0	246	21	303
11月	34	2	245	11	292
12月	33	0	247	11	291
1月	35	0	252	5	292
2月	35	0	249	19	303
合計	439	4	2,666	151	3,260

※ 1月・2月は未確定

◎第1号介護予防支援事業業務委託事業所

R2年2月末現在

	事業所名	所在地
1	あま居宅介護支援事業所	あま市新居屋上権現89番地2
2	あま恵寿荘居宅介護支援事業所	あま市二ツ寺西高須賀2番地
3	あま市社会福祉協議会居宅介護支援事業所	あま市西今宿馬洗46番地
4	海部東部介護支援センター	あま市新居屋鶴田14番地
5	いろは居宅介護支援事業所	稲沢市奥田堀畑町143番地
6	オーネスト千の音 指定居宅介護支援事業所	名古屋市千川区富田大字千音寺字下川西833番地
7	あま在宅介護相談センター	あま市新居屋高島35
8	居宅介護支援ひまわり蟹江	愛西市善太新田町十割下1-4
9	かもり介護センター	津島市神守町字下町2番地
10	清州ケアマネ事業所	清須市新清州一丁目4番地1
11	居宅介護支援事業所 ひまわり	津島市莪原町字郷西30番地1
12	ケアセンターくすのき	あま市甚目寺桑丸57-7
13	Kライン・ケアプランセンター美和	あま市蜂須賀北本郷1317-1
14	美和ケアプラン	あま市富塚七反地41番地2
15	ケアプランセンター愛燦々	名古屋市中村区千成通2-6
16	ケアプラン ひばり	あま市木田飛江ノ見74番地5
17	ケアプラン ひまわり	あま市本郷花の木45番地 パークサイドパレス102
18	さくら指定居宅介護支援事業所	あま市七宝町安松14丁目97番地
19	けあぶらんさつき	清須市西枇杷島町花咲7 ラ・フォーレ花咲20
20	清温居宅介護支援事業所	あま市木折寺田15番地2
21	四季の里居宅介護支援事業所	海部郡大治町大字西條字柳原37-1
22	介護支援センター千音寺	名古屋市千川区富田大字千音寺字間渡里2883番地
23	宝会指定居宅介護支援事業所	あま市七宝町下田矢倉下1433番地
24	たんぼぼ居宅介護支援甚目寺	あま市本郷郷前9番地

25	ティアレ介護支援ステーション	清須市鍋片1丁目81メゾン丸の内201
26	ケアプラン・ニッケあま	あま市甚目寺権現97-2
27	ハート医科介護支援センター	あま市七宝町桂親田2027番地
28	ケアプランセンター 心彩	あま市七宝町下田上才当治23
29	ケアプランセンター・花水木	愛西市勝幡町緑町48番地
30	ケアプランはるひ	清須市阿原鴨池76-1
31	在宅福祉総合サポートセンター ひだまり	名古屋市昭和区山里町53-2
32	指定居宅介護支援センター 陽だまりの里	津島市寺野町字好土44番地
33	福神居宅介護支援事業所	清須市土器野211-5
34	伏屋居宅介護支援事業所	名古屋市中川区春田3-132ライオンガーデン春田イースト801
35	プライマリケアプランセンター	あま市森2丁目6番地5
36	ほのぼのあま指定居宅介護支援事業所	あま市木田五反田87-4
37	ほのぼの稲沢指定居宅介護支援事業所	稲沢市稲沢町下田91-1
38	マカリエ居宅介護支援事業所	海部郡大治町花常フケ49-1 旧大治504
39	介護支援事業所まつかげ	名古屋市中川区打出二丁目347番地
40	居宅介護支援事業所 みやび	あま市七宝町沖之島九之坪44番地
41	森和心 居宅介護支援事業所	あま市森1丁目10-12
42	ライフケア居宅支援センターあま	あま市森3丁目13-2
43	ケアプランセンターリーでれ	あま市七宝町遠島新開20-1
44	介護相談室 絆サポート おおはる	海部郡大治町北間島屋敷123番地

3 総合相談支援事業

高齢者に対するワンストップサービスの拠点として、地域に住む高齢者の様々な相談を受け止め、適切な機関、制度、サービスにつなぎ、継続的に支援する。

R2年2月末現在

年度	電話	来所	訪問	合計
平成30年度	4,981 件	1,535 件	1,472 件	7,988 件
令和元年度	4,634 件	1,621 件	1,221 件	7,476 件

◎新規相談者（852件）内訳

R2年2月末現在

相談者		件数	構成割合
1	家族・親族	389 件	45.7 %
2	本人	117 件	13.7 %
3	行政機関	112 件	13.1 %
4	医療機関	73 件	8.6 %
5	ケアマネジャー	71 件	8.3 %
6	民生委員	39 件	4.6 %
7	社会福祉協議会等	20 件	2.3 %
8	介護保険事業所	12 件	1.4 %
9	知人・友人	12 件	1.4 %
10	警察	0 件	0.0 %
11	その他	7 件	0.8 %
合計		852 件	100.0 %

◎新規相談内容内訳（複数回答）

R2年2月末現在

相談内容		件数	構成割合
1	介護保険関連	640 件	54.9 %
2	状況確認	248 件	21.3 %
3	認知症	60 件	5.2 %
4	行政サービス・制度の活用	58 件	5.0 %
5	ひとり暮らしに関して	44 件	3.8 %
6	地域資源の活用	42 件	3.6 %
7	病院・医療関連	38 件	3.3 %
8	支援困難	8 件	0.7 %
9	生活支援体制整備	7 件	0.6 %
10	権利擁護・成年後見	7 件	0.6 %
11	苦情	4 件	0.3 %
12	その他	9 件	0.8 %
合計		1,165 件	100.0 %

4 権利擁護事業

ケース検討会

毎月、高齢福祉課職員と虐待事案の評価や処遇困難事例の検討・報告等を行う。

R2年2月末現在

ケース検討会	令和元年度
検討会回数	11回
処遇困難ケース	32件（延べ218件）

※虐待事案の評価件数に関しては、虐待対応件数とする。

5 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

地域の関係機関と連携・協働の体制をつくり、個々の状況や変化に応じて、高齢者を包括的かつ継続的に支援する。

（1）サービス事業者連絡会

サービス事業者間のネットワークづくり及び、適切なサービス提供について研修するとともに、介護保険制度や社会資源についての情報提供や情報交換を行い、介護に携わる人々のスキルの向上を目指す。

※原則奇数月第3火曜日 午後開催

※参加事業所については、市内のみでなく、市民に介護保険サービス等を提供している事業所も対象として、参加を促す。

回数	日程	内容	場所	参加人数
第1回	5月21日	「交流会」情報交換、意見交換	甚目寺総合福祉会館	67 人
第2回	7月17日	講義「介護職員のメンタルヘルス」	甚目寺総合福祉会館	47 人
第3回	9月18日	講義「介護現場での事故防止・救急対応」	美和総合福祉センター すみれの里	44 人
第4回	11月19日	講義「介護職員に求められる心構え・ルール」	美和総合福祉センター すみれの里	32 人
第5回	1月23日	講話「在宅訪問歯科診療の概要と臨床」 事例検討「あま市あま子さんが在宅生活でのQOL（生活の質）維持・向上していくための支援について」	甚目寺総合福祉会館	42 人
第6回		中止		人

（2）居宅介護支援事業所交流会

居宅介護支援事業所の介護支援専門員を対象に、ケアマネジャーのネットワークづくり及びケアプラン・介護予防プラン作成勉強会を通して情報提供や情報交換を行い、スキルの向上を目指す。「ケアネットあま」と協力し交流会を実施。

※原則偶数月第3火曜日 午後開催

※参加事業所については、市内の居宅介護支援事業所、予防プランを委託している市外の事業所を対象とし、介護支援専門員の参加を促す。

回数	日程	内容	場所	参加人数
第1回	4月16日	事業所間交流 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント業務の流れ ケアネットあまについて 褥瘡ケアサポートチームについて	甚目寺総合福祉会館	32 人
第2回	6月18日	あま市民病院地域連携室より案内 ACPIについて	甚目寺総合福祉会館	45 人
第3回	8月22日	事例検討「知的レベルに疑いがあり、社会生活で安全管理意識が低く家族の支援も弱いケースの支援について」	甚目寺総合福祉会館	40 人
第4回	10月29日	事例検討「認知症で良好な人間関係の維持が難しい独居女性と別居長女の精神的負担が大きい事例について」 「本人は認知症の自覚なく困っていない事例」	甚目寺総合福祉会館	33 人
第5回	12月18日	演習「ケアプラン作成のポイント」	甚目寺総合福祉会館	38 人
第6回	2月18日	講義「転倒予防・再発予防」 「計画相談事業について」 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護普及促進セミナー」	美和総合福祉センター すみれの里	34 人

(3) 地域包括ケア会議（介護給付適正化事業を含む）

居宅介護支援事業所に対して、介護保険のケアプランが利用者本位であるか又は自立支援の視点で作成されているか等を見直し、利用者にとって最適な生活上の支援につながるように、市が実施する会議に参加する。

R2年2月末現在

回数	日程	事業所名	場 所
第1回	9月25日	たんぼぼ居宅介護支援事業所	甚目寺庁舎
第2回	1月29日	あま恵寿荘居宅介護支援事業所	甚目寺庁舎

R2年2月末現在

	R元年度
検討ケース	10 件

(4) 地域ケア個別会議

個別ケースの課題検討を行い、その中で地域課題の発見等につなげていき、他の会議と連動させていく。

R2年2月末現在

年 度	委託包括	高齢福祉課
令和元年度	7 回	3 回

6 生活支援体制整備事業

単身や夫婦のみの高齢者世帯や、認知症の高齢者が増加する中、医療・介護のサービスの提供のみならず、市が中心となって、生活支援・介護予防サービス（以下「生活支援等サービス」という。）を担う地縁組織、民間企業、ボランティア等多様な主体と連携しながら、日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的とする。

(1) 相談・活動件数

R2年2月末現在

年 度	電 話	来 所	訪 問	合 計
令和元年度	169 件	81 件	192 件	442 件

(2) 周知啓発活動

- ・機関紙の発行：社協だより年4回
- ・生活支援体制整備事業及び生活支援コーディネーターパンフレットの作成
- ・ウェブサイトで生活支援体制整備事業の作成
- ・出張講座

日 程	対 象 者	場 所
6月12日	ふれあいサロンかわべ	川部集会所
7月10日	あま市役所福祉部関係職員	あま市役所甚目寺庁舎
10月3日	伊福地区コミュニティ推進協議会	伊福集会所
10月11日	民生委員児童委員協議会部会交流会	あま市美和文化会館
10月26日	あまのわ参加者	甚目寺総合体育館
11月10日	健康福祉まつり参加者	美和総合福祉センター
1月24日	花長老人クラブ	花長公民館

(3) 地域包括ケアシステム講演会（基調講演、3地区協議体による発表、地域の活動発表）

地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域で支え合うことの必要性・重要性について住民周知及び動機付けを行う。

日程	内容	場所	参加人数
1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ●「基調講演」 地域で暮らしつづけるために必要なこと ～役割と出番のある日常をつくろう～ 講師 同朋大学 社会福祉学部 社会福祉学科 専任講師 汲田 千賀子氏 ●3地区協議体による発表 ●地域の活動発表 (地域の支え合い活動をしている団体・学生) あまちゃんの会・沖之島地区コミュニティ推進協議会 	あま市美和文化会館 (多目的ホール)	267 人

(4) 協議体

生活支援等サービスの体制整備に向け、地縁組織、民間企業、ボランティア等多様な主体間の情報の共有、連携及び協働による資源開発等を推進するための話し合いの場

第1層（あま市全域）

回数	日程	内容	場所
第1回	5月28日	生活支援コーディネーターの紹介と2019年度年間スケジュール	あま市役所甚目寺庁舎
第2回	12月2日	生活支援体制整備事業説明と3地区協議体の活動報告	あま市役所甚目寺庁舎

* 構成員の内訳

団 体		
民生委員児童委員協議会	老人クラブ連合会	女性の会
赤十字奉仕団	市民活動センター	シルバー人材センター
社会福祉協議会	元ボランティア連絡協議会	高齢福祉課
生活支援コーディネーター		

第2層（七宝地区・美和地区・甚目寺地区）

七宝地区協議体

回数	日程	内容	場所
第1回	4月24日	2019年度年間スケジュールと情報共有	七宝総合福祉センター
第2回	10月29日	生活支援体制整備事業説明と各地域のお宝探し	市民活動センター
第3回	12月13日	各地域のお宝探しとその効果・地域づくりの木作成	七宝焼アートヴィレッジ
第4回	2月20日	各地域のお宝の見える化とミニ自慢大会	

* 構成員の内訳

七宝地区宝会連合会	沖之島地区コミュニティ推進協議会	伊福地区コミュニティ推進協議会
地域住民（遠島・沖之島・秋竹・桂・川部・伊福・徳実）		市民活動センター
シルバー人材センター	社会福祉協議会	高齢福祉課
生活支援コーディネーター		

美和地区協議体（ささえ愛♡美和～笑顔あふれる美和の郷～）

回数	日程	内容	場所
第1回	4月16日	2019年度年間スケジュールと情報共有	美和総合福祉センター
第2回	6月7日	協議体の制度理解と買い物支援の調査	
第3回	9月2日	協議体の名称変更と地域の情報共有（夏祭り・居場所・移動販売）	
第4回	10月24日	生活支援体制整備事業説明と地域の情報共有（サロン・スクールガード）	しのだ第2集会所
第5回	12月9日	花長地域のお宝発表と地域包括ケアシステム講演会について	花長公民館
第6回	2月10日	中橋地域のお宝発表と地域の情報共有（自治会）	中橋集会所

* 構成員の内訳

花正地区コミュニティ推進協議会	ボラ・エコー	パールの会
金岩地区コミュニティ推進協議会	市民活動センター	社会福祉協議会
花長地区コミュニティ推進協議会	シルバー人材センター	高齢福祉課
生活支援コーディネーター		

甚目寺地区協議体（まちかどかつや～くネットワーク甚目寺）

回数	日程	内容	場所
第1回	4月17日	2019年度年間スケジュールと情報共有	甚目寺総合福祉会館
第2回	5月29日	協議体の目的と名称変更	武田新聞店
第3回	7月31日	地域の課題抽出	
第4回	9月11日	抽出した課題の仕分け作業と地域の情報共有（移動支援・男性の居場所）	甚目寺観音 漆部神社
第5回	11月15日	地域課題に対してアイデア出し（食事会等）	MONZEN_COFFEE
第6回	12月25日	食事会のできる居場所づくりについて①	コミュニティプラザ萱津
第7回	2月21日	食事会のできる居場所づくりについて②	甚目寺総合福祉会館

* 構成員の内訳

あま市サクサク盛り上げ隊	武田新聞店	ききみみの会
甚目寺老人クラブ連合会	あま市身体障害者福祉協会 NPO法人 いち・たす・いち	あまちゃんの会
法華院住職	介護サービス事業者	市民活動センター
シルバー人材センター	社会福祉協議会	高齢福祉課
生活支援コーディネーター		

3 地区協議体合同連絡会

日 程	内 容	場 所
6月26日	名古屋市地域支えあい事業の視察報告・ゲームを通じて助けあい体験・各地区協議体の近況報告	美和総合福祉センター

視察研修会

日 程	内 容	場 所
6月21日	名古屋市中川区社会福祉協議会地域支えあい事業 常盤学区取り組み視察（地域支えあい事業の経緯、概要）	名古屋市中川区常盤コ ミュニティセンター
9月25日	名古屋市中川区社会福祉協議会地域支えあい事業 常盤学区の取り組み視察・常盤学区とあま市情報交換会（あま市1、2層協議 体構成員参加）	

* 評価

●社会福祉協議会地域包括支援センターは、包括的支援事業（第1号介護予防支援事業、総合相談支援業務・権利擁護業務・包括的継続的ケアマネジメント支援業務）と指定介護予防支援事業の委託を受け、昨年度受託時より住民はじめ関係機関への周知に力を入れてきた。今年度は新たに生活支援体制整備事業を受託し、昨年度以上に行政はじめ他機関、企業、住民と連携し協議体の運営強化に努め、あま市広報や社協だより、ウェブサイトで周知すると共に、パンフレットを作成し生活支援コーディネーターが地域に出向き民協交流会、サロン等での出張講座や地域包括ケアシステム講演会で周知啓発を行った。複合的な課題を抱える人や家族からなる支援困難事例が年々増加していると思われ、他機関、多職種、地域の方々と情報共有、話し合いを行うことで、ネットワークの構築、地域の実態把握、ケアマネジャーの質の向上を図っているが、地域包括支援センター職員の更なる資質向上も目指し、引き続き社会福祉協議会地域包括支援センターが身近な相談場所となるよう努めていきたい。